社

説

の荒力を發揮して、敷を停んで傲・せ給うたのであるが、斟願の深遠

膜つた知識が鎖正さるべきであっ然と機能一折するともあるが、知

の、肌も陰虚の大きい勤寒である

よればオル又河東岸すなばちオル

【ベルリン十日同盟】前機報道に 右部隊は隣地の反略により十月元

半島の敵増掘

到達出來なかつたといはれる。

かんとした際の上陸用分岐は強軍

かけてカルバト海岸五島の反福

況戰のでま午正

空挺部隊が眺地を横へてゐたが、 した、同市東南部には若干の英田

され、空間の極速の下と技術に行

敵、奥地に孤立す

仰ぐもかしこき似めである。

知育を尊重

が、断脳を関るが、その向に我が、対策でなくてなんであらう。が、断脳を関るが、その向に我が、対策でなくてなんであらう。

の分岐となるのである。現下ふ野を明く。まことに戦ふ日本に

故に知音が批響されるのであらうにつくべき能隊長、司令官を音ぶ

かが非常に
抗んぜられて
あるので
る。か
くる
脂肪に
ボ分なる
経戒を

「東京世話」単生、軍権政治では一

熱耐省皆示を公布、腓日施行する

る金属の関格に関する原生、軍

空襲等に對處して簡素化 賃金統制關係の行政事務

米、郷、食事などの物質限例なるることとした。生宅穀補助、質物給飼およう

もつて、日本の教育は心から知識

数を見るとき、何ひとが知覚

の更に輸送の耐阻を失ふ結果を生、見せるであらうか。故に知力こそであるが、それは未だ世界の

は如何に弱力なる歌鷗力の殺損を全く國民の歌起と努力とによるのが、人民語が何んであるか。との

故に殴士にしても一般にしても、快、果骸などといふ心性を消失す

京れて注入教授の客景につくが近

場合、際位の近下を探したり、繰

である。唯知管が施されんとする 題の品は、概ねば出来ないの 知力の收得を高る恩生、生徒、完

軍の反殴にようて源記から奥地へ一十一日後表=反信舶単はコタンター

【ベルリン十一日同盟】顕原館局

最も角型なことである。 日本の國力の中で、知力の弱化

開を終めて許さの屋面が、西と草

を持ってあるに過ぎない。しかしてはならないのである。しかも数

絶せる丘器を所持する場合、

本、議論練の第万に於いて他の道 破し得るわけである。思ふに精神 る敵米の反攻の如きも、容易に虚

とであり、際が七、八十年の歴史 をとつたのは、明治機利後のこ

方は、全く風をといる機関に 性格のものである。かくてこの知 取られて ゆかなくては ならない 力は「つの間窓の中で組織的に配 對獨るす射猛を車戦敵

断険や上陸往入せしめてゐる

タン半島東海岸地區のサン・メー ニーを窓にその手中に吹めコタン

> 獨沿岸で除によって海域的打弾を 國際被言れ上陸を企同した部隊は

五郎を置かず上陸侵入軍を財滅す

るものであると考へられるので織

イベルリン十一日同盟 | 郷電館局 | 大一日敬楽 | 郷空電快速電扇 | 郷電館局

【ベルソン十一日同盟】獨類常局

盟」郷野館局は十一日次の通り絵 百十機撃墜 十一日间廿四時間内 【ベルリン

百十般を選失したものと推定さ

十日セーヌ河口とコタンタン半

驅艦一隻擊沈 日門出」凝集當局

英東南岸基地を猛爆

心道してなり綱軍電局では今後敗

X調剤間の全 物であるとしてある、展別電話」「林の神論を研究するに成功したと、性がする」。 るといふのが顕知景語司令部の戦」 名様攻張地源に銃撃を加へ長額

各使攻益地帯に延襲を加へ長触器

【ベルリン十一日同盟】 縦節

獨軍の反撃強化す

ル突施を心て

--三目丁一通平太區中府城市 社報日城京 社会安合 所行

二級器態機

窓龍世四○○ 金級座男

され復関軍長李家廷以下魯謀副官 解解西南方においてわが単に急駆

と段遠ひであるかを如暫に

を確るわかったことは叶はない

史教科書の内容刷新

33十世纪睡

機果既

りできくがあれ

「リスボンナ日同門」取陶祭行『可問題皆聞は十日 「リスポン十日同盟」が原来電ー可能監督局は十日

る祭中戦の後級ち一機な関係、他

七四八

長李家師は五月廿一日初南省郊巡

戦死を敵確認 一日同れる

敵、夜空に彷徨

大陸爆撃戦、航法に格段の差

した、しかしマウントパッテン司

の意味

の一機は秘次(太原原閉一五キロ) |附近に係道、これを不時間せしめ **満州選地區を冒爆** の民衆に担留を與へてゐたが

に豪雄したもので、これに対し歌いので、これに対し歌いので、これに対し歌いに対しい。 の限法は何めて批劣で居にならな 航空改蔵の下つの配を示すもので 間爆戦を狙って頻りに錯励してあ な問題間は支那大陸における日米 最も効果的な歴法だ、敵機また夜

めてあるかが



凹値の大型爆弾を接て過走した 敵失四百八十 大型十一日同盟,河北省東南部 後頃B20一機は求をもや折か 河北東南討伐

中戦を交へるなどのことは全く珍 しく
支那大陸でも
これが
初めて
で



したにもがらす必死の懸然を示し 一る皮形取の反感に破か ・ もなく ・ 様件のため、困難性が著るしく増大 ・ 一颗次 重複を挟織した。 米面に対す 【ベルリン十日同盟】鑑賞名の

がに一緒のビルマ航空観とおいて ・ 自由限1 職 米茂を戦の同志的もはわなる業の 「ビルマ邮製基地十一日同限1 職 米茂を戦の同志的もはわなる業の 一日および第一日には主とし、反復軸管理は優技作戦第

大月午前十一時頃英酸臨**經**

で、第四日の空軍活動は極め

に版は獨単によって確保されて

ン氏は十日次の見解を表明した空軍評論家カール・ツボッベリ

獨の大空中艦隊待機

地移に関し高谷の戦略的地

新規召集

るため十日さらに新規召

現在迄の空戦は戦闘機、直協機 あることは確かだ、多数の個 発地といい上記で開き

度相様の侵入作権に對して、 の基準がどのくらあの空軍力を

バ・モー國家代表

流の料理屋やカフエー 、殺蜈蚣の停止から、一次戦時常措置による高

號月六

一定て激励電を設し、人道 作成に開し十一日ビトラ 統に激勵電報 國家代表は「反脳戦闘の ーン十一日同盟」パイモ

問題を行ひ、反脳軸脳の北 ロマルセル・デア氏は十日 が顕純を表示した 間の解図形の概念を要請 **蹶起要請** 目間 働相、國「バント に至って、それ等の料理屋やカフ して飲食代が高くなってあるのは 風と許可を得たものか、從前に比 何うしたことか、無臓、秘念も高 少難つてあるにしても、どういな きはじめたところがある▲形は多 エーの中で、またほつく「店で開 **酷でも認めたことであるが、最近** として、致し方のないことだとは くされた人時間の製制するところ くなってはあるが、秘金以上の高 錄戰血

房 內 聯

であつて見れば、どう私へても、 サービス総も一棚といるのが原則 喧である▲料理にも飲物とも公定 関格はきまってゐるし、いはゆる 0 鏡十四 〇 昭 昭 昭 田 特別鹽物

は十日夜戸福嶋縣恣監一隻及び八

【ベルリン十一日同盟】獨領協局

英快速艇四隻を屠る

十哩に撤収

マの北方

にマッケンセン将軍麾下

シナ日回盟」前級報道を

敵、戰局打開に

に満州の政治經濟的

恐怖繁著には砂糖受給斯に順じば 中の選子製造器船は製鋼が決定

◇駐湖運路展設會 日)原料の総給逃逃から整備計費 鮮滿連絡銀談での成果學る

ところ漸く決定、各当に泊留した 進を聞られと間俗殴打を考慮中の

作の簡整時地方官の均割

とくし中央と折続の上地

の年分で近い四十四機を国際する

日戦を安へ死婦機

かるできる意

事業を奨し

成正九日の行報で酸製

デ・バレラ首相再選

薩薩保のため質格面よりこれが極

◇慰茨関格政部(八日)穀炭生效して七日終了

今後既満間の人事交流現化の特別が決議時の成果につい

十日午前ルーマニャのプロエスチ

石

川武美著

一個八十公

主婦之友社新刊

W.Fen

欧南家に振りなく動行されてをり即ちらマニブールにかけての彼我の歌一てゐる マウントパツテンは開魔前ピル

わが部隊の新職によって直向、東 あり、また製繭削面では六月上旬 一种、 百井山、 世六神太空書 解説され、その呼號し

のわが軍猛攻

ムイデンの地區間ごおいて

際に攻略を加へその一

他の三世の原職の

ふこととなった同十日検婆

【新京十一日同图】鮮剛交易會議

百月は十一日午前九時より総務

南方產業技術要覽

R5判·五〇〇頁·蛟闐一五圓七五錢

海堂·新刊

神媒 田京 鮮滿交易會議第一日

軍師の流貨を押し新規に召集を行 イス職物議的は尺層軸官の北側上 リツヒ十日阿恩」ベルン來館=ス

都数が僅少ですから ・一般を対してすから ・一般を対してすから ・一般を対してすから ・一般を対している。 ・一般をがなる。 ・一をがなる。 ・一をがなる。 ・一をがなる。 ・一をがなる。 ・一をがなる。 ・一をがなる。 ・一をがなる。 ・一をがなる。 ・一をがなる。 ・一をがな

御回讀ください。

・(お求めは、公才創近所)

十日夜から十一日にわた

◇解験人事の交流を費化(九日)

の内容師新は本経習と

デ・バレラは時相に両親した

へ目次の

スイス新動員(チュー

の館立を削して随行する。フィアンナ・フェイルが網野や敷加日)國際本時の透視と、リン茨に『過酸の試管賦で该匹織、関連、アトツタホルム十日同門』メブ

で、必勝の信念と希望を語られが対す 本質編集の12部作『おが繋ずる生活られが対す 本質編集の12部作『おが繋ずる生活られが対す 本質編集の12部作『おが繋ずる生活られが対す

終する職業」ことに専成!

かけてもその打造不能であるとい

着け中間は落下ので降下して

しくなくかつ天候不良のたの歩気

潜艦集結

催、本年度を別計せを決定した 年度な易物質の種類、敷料などに

つき協議を行ひ午後は木會議を開 物質に関する例分科母を開催、本 腰脚堂で物動物資ならびに物動外

い、原家医一隻を脱込し 水域において反植物機像 日積潜水脈がクエツサン ン十一日同盟」四世間間 も驅逐艦を撃沈

米機奮迅、英機を撃墜

捕虜の英將校、同士討に激昂

運補給路を攻撃すべく十日以來シ來唯一與軍は以他作幣の反帰 一日同盟ロン

堀切が壁伊大畑は十一月で後八時堀切大使離城 寄城中の

次定的歌謡が原開されるも 力を集結してある、反応 世分宮成響鏡『ひかり』で一路暗京の金についた

◆被選秀次郎氏(維伽班事)向上 「事長)十二日明蘭城 事長)十二日明蘭城 ◆阿哲子一氏(四粒林豊間が加美)
士、「日宗雄へ出盟 息

南方谷地域の資源並に諸産業の現職等性に於て捉へ、單に資源 の埋藏量とか生産量とか生産量とかを離列する如き平板的な叙述を避り、その技術的發展及階、敵國戰時資源との對比等を通じて南方産業の現狀を立體的に分析、論究せり

· ·

國民電氣電大 京田 元禄 著

われら起たん 戦ふ青少年の雑誌! 大本營歸頂報道部長 松 村 大 日一和 櫻井忠溫

億一

○橋本 左內…木 村 散 ○八 與 ○八 與 下場 ○八 與 下場…里村 版 三 日 以 三 日 い 二 日 い 三 日 い ニ 日 い こ 日 い ニ 日 い こ

全地 ・ 一部では、 ・ でいる。 ・ で

(會+3月=1848大+2 (標準) 根會轉沿數阪府阪大 部談相道乃德聖

呈進



日爆撃失敗 シャー・マニャの 「ベルツー

だと城地を何する米國ライ

高級振樂は上り後の現状について着を捨てく置く就には行くまい。 知りつく、そんなところへ行く者

ムスタングなどの設置

子を繋の必要が必る。

れば反脳期はローマ四 殿別公報で以稿棚里がビテ

ではないだらうか人には、それと

はれる。

語ので言葉をしたが最新

地和な無効が扱には観聴でも、る

それを質局が知ってあるか否か。

がきると見なければならないが、







した様子だ、柳秋大本然は

の展版で、選上する反脳動

整を膨大聞く▲一郎の江禄を合は、

院整然と吸作成を機能

そんなに高くなる密がないのに、

がするのである、もちろん とい貨物権と対して練発 空を結んで初めて吸力を では多種多様な施設と資材と 刀の問題を指摘してある事質

伝活出灰ない、除巻

よって自ら配度があり、

鄭

てーの標語を掲げて理談に突流し 選が地せるかな…着れ一般れ、

には 00名の 研役を頭を例にとつて見ても

力して約月五十名の女子野都潜を

と切に思ふ、男子等務者に加

も動員してゐるが能率は極めて

融けてある。一般の協力と認識

防空第一 第一 10章

情報局の緊密交指域によって行 ・近い計画放動を終へた関係が負は の繋ぎ原稿をにかるもので型と 一面地において解散する。 ・ケ月に

一倍をなし一見ケ浦に一泊、十二日

軍官民の賛助を得たのでその成熟がある斡旋で限力なる指は時

行差徴格の早終なる協民化へ一・大友氏の氏師といなれる新編明して接ばに軍監をおいて誰めて一れを

一回の日本貿易年八十九名が十日

時代六分原京を持入京した 開方各國から派徴された第 位話」ビルマ、ジャワ、比 一回留學生着京

の一個伝内総の深い致りに贈った 史四が被循され今明ながら 裏間を紹介した、この間上で近江

と学院のゆかりも深い放々の史意

官り借り同げた内族物数起して近畿金属で亘つて約一

層面派遣は)とも終り、派遣は、和歌山縣(鈴

示し傾もしき限りであつた。朗

領衛として第一線と軽づ日を紹

開催した初地線知事消得の鼓線質数者を波跳、午後一時から短駆で

同地において獣敬する、一ケ月に

て特別は取ってゐるが、その他の 問程をもつて十三日に第一回の修

> 研究室について山田理派技はつぎ 能ではか大泉亜共東関国最生態安

奏音を聞くこととなった、右四

を大概に認着してもヶ途るの機

職力の警機は不可能だ、経験・

へは、朝鮮の遺伝これま

殿位になるわびだ、郷道、船前はれくが話本になり、潜れ、勝つの

るに伝まつ場合の問題もある。一のであつて観散に参考され度いもが、膨大な情格の影響を収容が一貫なくしては輸送の生命は出まる

展視されかちなのだが質はこの仕 変、何しる福を旨へば一般と

藤上海とに終られ、縁差の

限力均養のための生産協元の

心がが修送をに勝つてある

まづ送れ、造れ勝て

何ごいつても人間の力が第一

もつと荷役に感謝を

の総大な協力を仰がねばならない

人肩、馬脊で 人肩、馬脊で

小運搬破能であるが、今日貨物

非常に際しては

朝鮮美閣閣が出版する

【東京院話】大日本普級振興館で

あり、大黒空質樂研究等は大東カ海線に貢献せんとするもので

を招信するものである

一型を護術、九日の宇宙 一般 八日から京都に延

如言ことなとてもおひつかねこと

具体方策を可決、合めに近く各界の一般の完整、管察研究系、管察研究系の四施設の

の人々を招いて演奏と紙銭の夕を

田戦盟主事一行は運動開始り採甘

二百間、上一ケ所の工場、登覧場六

問、評議貨幣が領集、作職管業所長、各理以天郊情報問題が各局

神宮に報告参拝

成果を收めて東海班運動終る。

その成果と散闘を次の加く配つた

指数位の指数を行ひ一ケ月半の

の茫には々人間々で、これを助

化するためには、確優勢力と、機

温度機能の統合風力をもつて、数

船舶の廻動器を敷船履じさせ

れが定めには縁送がこの機構 せぐ気に経験値の火をもつど

と願へた言葉の歌めな

しをもう一度お互に著へ直さ

失敗し勝ちだ。まつ附近の地下水の流れを換究し創食連れてゐるのと土地に編集が多いので地下窓の製造は 壕は創憲と工夫 からとあちらの設計園面近りに

**漢語に近いところは
引水海で
運河式に
海水を引き
氏語
別
を助
下
器
の
設計
にして
もドイツで
は
かうやって
ある**

に對應する水は上水道をあてにしてはならぬ、水源地

雅水なの見然の

さない、歴は私の吊と展開する如く、その土地での周 間、五百回や出し台つて一足の望式による十人用、 ふが若しにるたらば 東門技術者に この助をよく注意 難に順應したものを作らればならぬと、影幽坑で三百

人間の屠殺場

ふる輸送に上陸炭の夕日の第一日 協質が後度して二日間居民権で行

運輸差別力哲主版、閉解廣應文化

吹飛ぶ勞苦

輸送戰十慰安 の夕べ第一日

る、地下水の浦出する土町は根水として降けはよいしる、地下水の浦出する土町は根水として降けばよいし

十一日は午後六時年、同能力量

た特許を築ひで駆す動発し上おい

期としたが、十日福軍司令部から

で子供職しのやうなものだった。 かく 中の のいととことが、あつたおいて、 きかしたことが、 あつたおいて、 なばなる

來面軍はすでに解しい政治兵を指 北フランスの攻作戦を開始して以

【カナダ兵ウイリアム・リツトー】

日同盟】 反福祉連が / とを認めてある、以下は激神略の

敵捕虜が語る北佛戦線の地獄圖

語る地域圏である

京城鍾路區の壯丁激勵大會 経典能の此丁並にその欠け



つたが会方的からの原動状を受け 一十一日1時間原最本域でり脚連・ ・耐岡殿下の演機の日程を終 歌編の個や雕りに飛び入りしの関南にOO名の電土選は優 演響、一夕を過したが、さ 会別は割れよとはかりの

第二朝 和・○○□三年 朝 『田村の村』の 放送圖 電話光七門二十六番

京城府中區本町一丁目三二 階

際はかって小規模が高度協助國一立つて心質に設配達する過程を終った。自然の原理が、異なり組の前に一般神工場を観察した。白の歌歌等一様の自然の概念、異なり組の前に一

羅鹿に「西見時形長後】小唯郷 | 家建能の立場からその建設を頭別

りぶた工場の工意及び職員を液動

力を向け数すのに今である。全

にあて決定式大集部の暗脳

書生宅を融級し続身なにつかく

受論を打ち込んで知恵を取び

ので「別関などうしたのか」とえ れなどで明かて見たが悪いが無い とアンベラ城の部屋に入って押入 泛いはは生めの親の一人である

總督、北鮮重工業の戦士を激勵

つとも基礎の国い、もつとも大

権の境路が必要なのだ、朝鮮

るとこれを散粉所に返すことに

質問をなげかけ、と野新着指揮の根本領側に對する一

生産地を行脚

「やなりなんといっても最適に

に傾命の努力を拥つてあるが今回

なつてのます

ではその聲前の消回を見せて

勝敗はこの鐵量だ

を合けておいて医療が動態とく信仰を治覚と示。周りつけられながらヨイナの「脳が経路と調を続いけた縄の解像が水中に辿して強動し河域の天魔が、成就行同時に観念に低端し

えて天敬柳樹の海の子らは無邪気だ、赤銅色に対へて明るく湯してするやかに育ゆのだ「鬼味・京

ほくえましく影響の水浄に訪れた、別に掲む種の

に張り移つた金輪に一般の砲車

在の揺尾を飼る純路崎の様在は十 京成形内半島雄児の第一別徴兵機

血潮を皇國に捧げん

生から京成和民族大都なで生行し

能比丁の歌大台を十一旦上前九時

三日から資施するが、これに先立

○北北、歌劇上階をかと問題の

正確は暗壁一中に飛び込む、寒やなる初見

300以上との影響百名を推力を1一致を推力を選手による。11と20一部であしまと映じらませた。21で映画はじて田中的報告題1月一の修正では月に一致元至一般の最一級無石を指出されたでし、五年を明正の一

信する上砂を供上せねばならずる

通してごそ最も回転の規則に関してから近対をもつと適切な間に

をだに刺ぶは脱に順へる魅力の をだに刺ぶは脱に順へる魅力の ないのでは押してゆく、とも子れ でなって押してゆく、とも子れ

地脈と、気のアンレかも

た、装装してあるのは一番芸り の明いた影響控象管の力で整岩 三番スガボだ、右手で廻撃取手

は最初な大島の質和を受け、20 がかべる、無限ない難とに負荷などでした。 おおおのに指すが難とこれで死へかれるがき 間におけならる。 るるでは単後の原理が原理といった、地質は、液水、地質は、は、への輸出る音気はものだった。 まちらる

個化して異ひたい。

これから作機衣など充分

出した所、日本原せなかった所と

小心、確か人山して二万月目は一覧できたほうこのととは、このでは、一覧がぬばの疑問権を践げると一気でゆくの古へは対になり、に置いぬばの疑問権を践げると一気でゆくの古へは対になり、

田 寛か、そこに贈うれたの言葉など、田 寛美のことの田本の記録を与っていません。

子徳として野かなんないと言いる

で批丁を代表して大原的

引越荷物

★六、少國民の時間、副佛

京城計

是一种 **理事務所**

展場のとれた人物ともは諸島の

以は『学明五首年の扉を蹴つて

・三〇濱遜所の時間1日

會社與遊戲或

化學工業職

門がい語・いる語

線義明算の血が流れてある

監督が作者の手壁が銀数によって

極めた報面に沙漠なく溢れてゐる 祭育な影響を句はせて母と子の明

の少年戦士に一日の收入はいく

使れが休まると知りながら助けた

文人裡

郎雄三造字造源體淳摩九

平張平松佳石新桑

火酸耕元承倦海昌

讉

御ば龍

ででいる。

電堀 ②運

九三番社事

惠不幸於 本月十一日午

る様にないのか帰むやないから、工場を巡詢した

それでは個人の物は紛失して

どうしてこれなけれていま

殿力が記し版明する副領職士版版

瀬戸知事仁川

須地を行脚、山の地を観出への

E

となり高間京城航炭場称と共に十 威闘と今後の出荷を依頼すること

| 「東京駅網外新頭紅や地區の各種

金出、縣原、平原、推關、縣路、

の問題に関目が終めいる、それら

はね返す繁岩機

一数と記りはない。それだけ指一ならい言なり本處で思かして製品数の網を生設出す助物は正にお一ならい言なりを過じるつきのだ。個機

られない認知にあつたのだ、層数

増産も は一文の回信

任は上班ってその日の気器をし 所は現せなかつたが外の現場で変 白の雌で示される。だから自分の

野務者の他山への路線はその

身間が温度し、固い仮れの水が浴

1.0 ○ 1.0 □ 1.0

五杯をてつx付にのむとほのかに とに一本ついてゐる、循口に四、

多観を 待ってあると

けてゆくのがよくがた、新

切別科師は吸がである。

すつかり何時に押され除り合りる 容無といふよい企業発揮の関係上

そあらゆる田郷、脳路を京城し

治国際が関の地域で

いる明えるといるではった

100mm では、100mm に対している。 だから 100mm では、100mm に対している。 だから 100mm に対している。 100mm に対

に理論の陰路を辞ねると

ある、非常時頃過!これが鍼山で

と自然界を統一する

路は条外統後一個の小の中に落む 産婦面に改造する版士の映画用と

て残らればならぬ、始前へのい

南京虫・家ダニ・ので

通過於

船

行^{啓義}

義二孝香

集になる場点の熱心さる他しい

整時に差り込んで一分でも「巨剣群としてから年度へ入れなば、変観時に差り込んで一分でも「巨剣群としてから年度のに程を超て医療理に入れ一

関節は大きて四月日中政務総

生きた地脈に挑む

大攻勢は増産からの

朝鮮冶金販賣株式會社 電影本局③四七六四番電影本局③四上流圖 | 於經 | 於經 | 於經

告

事務所を左記に 移轉

漢語は動の・電話(羅南語) IIO人番女他衆業原料 論誌 林・安助商店社会 漢土・ベントナイト

薬除驅虫蛔 蛔虫は 健康の敵 - 存 小次月 人人一 四八回 品製村植

問題九州支配後接の半周出身問題話。來解中の本批主催石

除福岡を終る

一种原因所以及一个日正子或

領場で欧に織りに避れるば、 練消場などを見ぬ、彼は同 本計版道配問窓演に飛入り

本語を習つた上来年の四月で一般校に入扱し一年間みつちり

記録の大學専門県核に入

名、スマトラル名、北ボ ルマ卅名、ジャワ廿名、

告

西福 公 各位、酸

作

借 2.權中 Ш 0 公告

プープニ本日 姚〇一二第

京島上夕巡判 曾社 子谷 商 會 京城 中 古 一 元 百 南 一 元 0 元 の開催り受け度し、中古国で 至急求む

中 三一郎作株式倉社